



「グループウェアと CYBERMAILΣ をシームレスに連携。スマートフォン、タブレット等、モバイル環境での運用を実現しました。」

サトレストランシステムズ株式会社

経営企画本部 情報システム課

課長 神保 素様

導入前の課題

- ・ビジネス拡大につれ、社外からモバイルなど多様化するユーザーニーズへの対応。
- ・多様化するユーザーニーズや複雑な管理権限設定に対応。
- ・セキュリティ対策などシステム運用負荷軽減。

導入製品



導入後の効果

- ・デバイスに関係なく社内外でメール利用環境の実現。
- ・管理権限設定が詳細に設定可能で、社内セキュリティポリシーに沿ったメールシステムの実現。
- ・ユーザー・システム移行もスムーズで短期間でのシステム稼働を実現。

事業概要

和食中心のレストランチェーン飲食店の経営及び食料品の製造・販売

サトレストランシステムズについて

サトレストランシステムズは創業以来、和食中心のレストランチェーンとして、外食産業の一翼を担い、成長・発展を続けてまいりました。お客様のご要望に応え続け、地域に密着し、社会に貢献していくことで競争に勝ち残り、これらの取り組みの積み重ねにより「最もお客様に信頼されるレストラン」の実現を図り、社会から真に必要なとされる企業を目指しています。

グループの代表業態である「和食さと」(197 店舗)では、グランドメニューのしゃぶしゃぶ・鍋料理・丼・麺類・和膳の他、四季のフェアメニュー、ランチメニュー、お子様メニューなど、和食を中心に老若男女のみなさまに満足いただける豊富なメニューを用意しています。

食べ放題の「さとしゃぶコース(1,980 円税抜 /120 分)」は人気が高く、主役のお肉、野菜盛り合わせ、メのごはん、麺類など、鍋具材全 30 品を食べ放題で提供しています。



さらに、プラス 400 円(税抜)で「プレミアムコース(120分)」を選択すれば、お寿司・焼きとり・串カツ・季節限定メニュー等全 75 品も味わえます。味、ボリュームともに自信を持っておすすめできるコースです。

その他、鍋物・寿司が中心の和食レストラン「すし半」、早い・安い・熱々の天丼・天ぷらを提供する「天丼・天ぷら本舗さん天」、「にぎり長次郎」、「かつや」等、グループ全体で 282 店舗を展開しております。

導入の経緯

グループウェアのリプレースに合わせ、新メールシステムを検討

「CYBERMAILΣ」導入以前の状況

当社では、2001 年に社内グループウェアとして NEC の「StarOffice」を導入しており、メールシステムは、グループウェア標準のシステムで運用してきました。昨年、2 度目のサーバ保守の更新を迎える際、業務改善・効率化を図るため、グループウェア・メールシステムのリプレースしようと考えました。

— どうしてリプレースしようと考えたのでしょうか

利用していた「StarOffice」は、PC での利用が前提になっており、スマートフォンやタブレット等のモバイル環境では、画面表示ができない、操作ができない、という制約がありました。当社のビジネス用途の拡大にあわせ、グループウェア・メールシステムともに、社内外で利用する際にこれらのモバイル端末も効率的に活用できるようにしたいと考えたからです。

グループウェアと合わせて、2013 年 7 月から各社の製品の比較検討を始め、ベンダー数社か

ら提案をいただき検討した結果、最終的に大塚商会様から提案いただいたグループウェア「サイボウズガルーン」に、クラウド型メールサービス「CYBERMAILΣ」を連携して利用することにしました。「サイボウズガルーン」にも標準のメールシステムが搭載されていましたが、当社が必要とする機能が未実装だった為、メールについては機能・操作性共に要件を満たすことができる「CYBERMAILΣ」の導入を決めました。



「モバイル環境においてでも、グループウェア、メールシステムを利用できるようにリプレースを検討しました」

User Profile



サトレストランシステムズ株式会社

<http://www.sato-restaurant-systems.co.jp/>

本社：大阪市中央区安土町 2-3-13

大阪国際ビルディング 30 階

設立：昭和 43 年(1968 年)

代表取締役執行役員社長：重里 欣孝

売上高：32,762 百万(連結：平成 26 年 3 月末時点)

従業員数：854 名 / パート・アルバイト：9,086 名

(連結：平成 26 年 3 月末時点)

■ 選定理由

サイボウズとの連携、モバイル対応、メールシステムのクラウド化

ー「CYBERMAIL Σ」選定の際の要件

① 社外業務に耐えるモバイル対応

前述のように、従来のグループウェアの環境化では、iPhone 等のスマートフォン、タブレット等でのモバイル対応はほとんど進んでいませんでした。当社のような飲食レストランチェーンでは、店舗営業部門、本社管理部門はもちろんのこと、出店立地、店舗建築、食材仕入等、様々な業務を行っています。店舗営業部門であれば、営業部長・エリア課長向けにどこでも容易に情報が閲覧できるスマートフォン、出店・建築・仕入担当であれば、社外で打合せをするのにタブレットがいいだろうと、さまざまなシチュエーションを想定しました。

採用した「CYBERMAIL Σ」は、スマートフォン・タブレットからのアクセスがスムーズに行えますので、社外・社内・店舗共通のツールとしてメールシステムの利用が可能となりました。

② グループ共有アドレス帳、権限管理設定の機能

従来のグループウェアでは、各部門で取引先のアドレス帳を共有して運用していました。取引先の情報は、全社および部門の共有資産といえます。メールシステムのリプレースにあたり、グループ共有アドレスの機能が使えなくなる事は資産の損失になってしまうため、この機能は不可欠でした。また、当然ですが、情報管理の観点から、該当部門のユーザーのみ閲覧する等、部門毎にアクセス権限を設定する必要がありました。「CYBERMAIL Σ」では共有アドレス帳機能とグループ単位での権限設定を活用する事でリプレースの際、スムーズに移行できました。

③ メールシステムのクラウド移行

従来のメールシステムは、社内自社サーバで運用していた為に、セキュリティ対策・スパム対策など運用管理の負担が大きく、業務改善の必要を感じていました。「CYBERMAIL Σ」はクラウドサービスのため、常に最新のセキュリティ対策を講じることが可能な上、運用負荷の軽減にも繋がりました。

■ 導入の状況

ユーザーに違和感を与えないサービス導入が行えました

ーサービス導入までの流れを教えてください

時期	導入・リリース状況
2013年 8月	「CYBERMAIL Σ」の導入を決定
2013年 9月～10月	サイボウズガルーンとの連携構築、移行
2013年 11月	テスト稼働
2013年 12月	一般ユーザー（本社）公開
2014年 1月	「和食さと」、「すし半」、 「天井・天ぶら本舗 さん天」 全店舗公開（217店舗）

2013年12月、本社ユーザーに公開し、2014年の2月、「和食さと」、「すし半」、「天井・天ぶら本舗 さん天」の全217店舗に公開しました。

サイボウズガルーンとの連携においては、構築ベンダーさんと事前に打合せを重ね、十分な検証を行いました。導入にあたり、もっとも注力したのは、従来のシステムからのスムーズにシステム移行させる事です。

ー具体的にどういうことでしょうか

ユーザーが新しいインターフェースに戸惑ってしまい、業務効率下がってしまったのは本末転倒です。まずは、グループウェアとメールシステムの連携がシームレスであることが重要でした。ユーザーがグループウェアのメールアイコンをクリックしたときに、違和感なく「CYBERMAIL Σ」のシステムが利用できなくてはなりません。ユーザー側からすれば、「CYBERMAIL Σ」が、グループウェア「サイボウズガルーン」のメールに見えるようにすることです。導入後、一部ユーザーがメールのことを「ガルーンのメール」と呼んでいますので、うまくいっていることを実感しています。

また、従来のグループウェアと同等の運用を行うために、システム部門でかなり詳細な設定を実施した部分もあります。前述の共有アドレス帳や権限設定は、どうしても機能面の違いがあります。事前の説明やデモでは分からなかった問題も移行時に発生しましたが、「CYBERMAIL Σ」の標準機能を最大限活用して、ユーザー側が利用するうえでは問題ないレベルにまで調整することができました。

■ 導入の効果

端末に限定されない運用が可能に、業務改善効果に繋がっている

ー現在「CYBERMAIL Σ」の利用状況

現在、本社及び全国の店舗を合わせて約500アカウントで運用しています。スマートフォン、タブレット等、端末に限定されない運用が可能になっています。今後は、グループ会社にも運用を拡大する事も検討しています。

ー「CYBERMAIL Σ」を導入して感じたメリット

社外でのメール利用では、ユーザーから好評をいただいています。メールの確認もスピーディーで、メール送信時にモバイル環境からでも会社のアドレス帳を利用でき、使いやすいという評価です。

また、クラウド型なので、外出時に返信した履歴、閲覧の履歴がPC側とも同期されますのでメールでの業務に無駄が生じません。メールでの業務は日々のことですので、積み重ねると大きな業務改善効果に繋がっているはずですよ。



「社外でのメール利用において、ユーザーから好評です。」

■ 将来の展望

モバイル対応サービスを生かし、業務改善・効率化を図っていく

ー今後のサービス利用について

現在、スマートフォン・タブレットの使用法や情報管理の方法について意見を集約しているところです。モバイル対応サービスという利点を生かし、業務改善・効率化を図っていきたくと考えています。

ーサイバーソリューションズへの期待

「CYBERMAIL Σ」は全社・全店でこれからも利用していきます。サービス利用開始時は未実装であった機能も、現在対応していただけました。今度ともスピーディーな対応とともに、常に最新のサービス提供と将来発売される機械・OSへの積極的な対応を期待しています。

ー本日はお忙しいところ、誠にありがとうございました。